

# JFEトンボみち ファンクラブ通信

2021年 9月号

## 【ぶらぶらトンボ】 藍染を体験しました！ ～ はま農楽の活動に参加 ～

8月25日、横浜市環境活動支援センター(保土ヶ谷区狩場町)にぶらぶらと出かけました。目的は、6月に収穫して乾燥させておいた藍の葉を使って行う乾燥葉染めの体験です。

手順のあらましは、つぎのとおりです。

- ① 藍をネットに入れて10分煮る。
- ② 最初の煮汁を捨て、発色を助ける炭酸ナトリウムなどを混ぜて再び藍を10分煮る。
- ③ 3回煮て、それぞれの煮汁をひとつにまとめて、染め液完成。
- ④ 水に浸しておいた布を染め液に浸す。
- ⑤ 布を空気にさらす。色を濃くしたい場合は染めとさらしを繰り返す。
- ⑥ しっかり水洗いして陰干しする。

藍は日本人にはおなじみの色ですが、藍色に染められる植物は世界中にたくさんあるそうです。日本では中国から伝わったタデ科のアイ、沖縄地方ではキツネノゴマ科の琉球アイ、アイヌ民族はアフラナ科のヱム大青(タイセイ)、インドではマメ科のインドアイ、ヨーロッパはアフラナ科のワードなどです。今回使用したのは、もちろんタデ科のアイです。

アイには防虫、へび除けなどの効果が知られていましたが、近年は抗菌効果、抗ウイルス力が注目され、研究が進んでいるそうです。

さて、今回は白いTシャツをグラテーションに染めてみました。初めてにしてはマアママの出来ではないでしょうか(自画自賛)。トンボみちでも藍を育ててみますか？(^-^) 銀



### はま農楽とは？

「横浜農と緑の会」通称「はま農楽」(はまの～ら)は、横浜市環境活動支援センターで実施している市民農業大学講座の修了生による自主運営組織です。

農家への援農や、市内の学校での栽培指導、その他緑化等の活動に積極的に取り組んでいます。(パンフレットより抜粋)

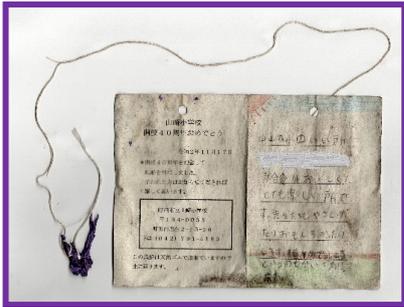
### ～ 講師からのメッセージ ～

藍の歴史は六千年前からとも言われています。染色の方法も今とさほど違ってない、それを体現できるのはすごいなーと思っています。ぜひ、藍を育て、染めてみてくださいね。麻野恵子

## 【報告】トンボみちに風船が飛んできた！

8月28日、遊歩道のフェンスにからみ付いた葛を取り除く作業をしていた工藤裕子さん、偶然にメッセージカードを見つけました。やぶれた風船が糸でカードにつながっています。

カードに書かれた文字をみると、町田市立山崎小学校の開校40周年に昨年11月17日に飛ばされた風船であることがわかりました。距離にして約30km離れた場所です。



カードには「山崎小のいい所」を児童が手書きしています。さっそく学校に連絡してみると、副校長先生からお礼の電話を頂きました。トンボだけでなく、風船も飛んでくるJFEトンボみちでした。( ^ \_ - ) - ☆銀

## 【シリーズ】トンボみちの仲間たち

8月と9月の月例活動もコロナ感染拡大防止のために中止ですが、すてきな初秋のトンボみちの仲間たちをご覧ください。(撮影: 柴田さん)



**活動予定** ※雨天は1週間延期  
 今月：9月25日(土) **中止します**  
 来月：10月23日(土) 9時～11時  
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能！  
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索



JFEトンボみち ファンクラブ通信 2021年9月号  
 発行日：2021年9月22日  
 発行者：トンボみちファンクラブ  
 連絡先：ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています  
 投稿してくれた方にはトンボバッチを差し上げます  
 ※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です

